

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.91

〒地球温暖化対策室

☎295100

地球温暖化と異常気象

今年の初め、日本列島は平成26年豪雪といわれる大雪が降りました。

九州、中国、四国、東海、関東の各地で積雪が観測されたこと、そして東京都心や甲府市各地で過去最高の積雪量を記録し、本市でも積雪により通勤の足に影響が出ました。反面、冬季オリンピック開催中のロシアのソチでは2月にしては記録的な高温で雪不足のため大会運営が心配されました。

そして今年の夏は、広島を始め国内各地で降った大雨が大きな被害をもたらしました。本市でも1時間降水量71ミリ、3時間降水量156ミリの激しい雨が降りました。

昨年、岩国で講演された気象予報士の村山氏によると、温暖化が進んでい



るはずなのに大雪が降る理由として、降雪量は減っているのに一時に多くの雪が降る傾向が見られる最近のデータが示されました。合わせて、雨も極端に多かったり少なかったり、一時に多く降ることが観測されているとの報告がありました。

また温暖化の影響と考えられる日本周辺の海水温上昇により、台風11号はいつまでも強い勢力のまま日本に上陸しました。

今年は、私たちの身近で温暖化の影響と考えられる異常気象を体感する年になりました。地球温暖化の原因といわれる二酸化炭素の排出を減らすために、私たちの生活をもう一度見直すことが大切です。

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎315304
総合支所



マイバッグを持参しましょう

スーパーやクリーニング店などでのレジ袋の無料配布中止によるマイバッグ持参の取り組みは、ごみの減量化だけでなく、レジ袋の原材料である石油の消費抑制やレジ袋の焼却により発生する二酸化炭素の排出抑制につながります。

平成25年度の市内のレジ袋辞退率は90・7%となっています。また取組店舗数は全国で山口県が1位となっています。

マイバッグの持参は、簡単にできる身近な取り組みです。ぜひ、実践してみましょう。

【日頃の心掛け】

●マイバッグをカバンや車の中などにいつも数枚用意しておき、どこでも使えるようにしましょう

●どの店でもレジ袋の受け取りを断りましょう

■ごみ処理家計簿

減量効果		8月分(前年同月比)
増	処理費用換算	+ 416万円
減	排出量 (1人1日当たり)	899g (+ 29g)

※処理費用は、処理に要する経費と排出量から単純に計算したもので、実際の金額とは異なります。

▲誤解を受けやすい例(マイバッグはたたんでカゴに入れましょう)